



信州黒姫山麓より あなたに...

2011.7 発行

vol.47

えん通信

健康な生活とご縁は人生の舎



一期一会

出会い

人生は「出会い」である。「ご縁」である。出会いによって人生が創られている「と私は常々思っている」。

出会いには人との出会い、言葉との出会い、書物との出会い、物との出会い、出来事との出会い、自然との出会いなど様々な出会いがあるが、私もものものしい出会いの陰で今の私がある。出会いの中で最たるものは、やはり「人との出会い」である。

誰しもこの世で最初に出会った人は母親であるように私も同じである。明治44年生れで今年の12月1日がくると満百歳になる母とは76年の付き合いになる。平凡な家庭の母にすぎないが、私は母から

学んだ事が実に多い。私にとっては人生の師が母である。

結婚して49年になる妻との出会いも縁としか言いようがない。そして生れてきた2人の子も人生の縁である。

人生は限りのあるものだが、しかし、「人生で逢うべき人には必ず逢える」と言われている。万葉社長との出会いも偶然ではなく必然の出会いとしか思えない。有難い有難いご縁である。正しい生き方、正しい企業経営のあり方を学ばせてくれる倫理法人会がとりもつご縁である。私が東京の杉並区にある杉並区倫理法人会の副会長をしていた平成2年がご縁の始まりであるか

ら、20年以上になる。万葉社長が東京の九段倫理法人会のメンバーになられたお陰でお会いする機会も多くなり有難く思っている。万葉社長の弟様で黒姫和漢薬研究所の土社長とのご縁も万葉社長のお陰であり、倫理法人会のお陰でもある。お2人のお陰で「ほほえみ読本」と「えんめい茶」に出会い、心と体の健康をいただいている。心から感謝している。

私は左官業の長男としてこの世に生を受けた。私に与えられた人生である。小学2年の時から日曜日がくると夏休みがくると家業の手伝いをし、高校を出ると社会人になった。エクステリアの卸しを主業とする今の会社を興して

48年になるが、平成17年10月に図らずも納税者750万人の中から僅か50名(15万人に1人)という狭き門の財務大臣表彰を受彰させていただき、家内ともども宮中に参内し、両陛下拝謁の栄誉に浴し、翌18年4月15日には当時の小泉首相から「桜を観る会」に招かれたが、この時も家内ともども出席させていただいた。人並みの努力はしてきたつもりだが、それまでの人生ですばらしい人との「出会い」「ご縁」に恵まれたお陰が大きい。

人生76年、これまで多くの人にお世話になった人生である。これからは世の中に多少なりとも恩返しをしていきたい。

①自分と家族の健康、②円満な家庭、③良き友人、④多少の経済的・精神的ゆとり、この4つを大切にしながら、人さまに喜んでいただく事、お役に立つ事を常に心がけて天に貯金をしていきたい。

出会いに感謝!!
人生に感謝!

新宿区倫理法人会 相談役
株式会社永田商会 社長

ながた よしひろ
永田 義博

昭和10年左官業の長男として生れる。高校卒業後、家業の万年堀(組立式鉄筋コンクリート堀)の製造販売施工業に従事。昭和38年株式会社永田商会を設立し、エクステリア総合工事からエクステリア卸売業に業態変換し、業容拡大。また様々な功績が国に認められ、財務省・国税庁や社会保険庁・消防庁等数多く表彰される。

